

そして シベリア出兵がきっかけとなった米騒動のあと、
軍人を首相とする(寺内正毅)内閣が系辞辞職し、

1918年、**原 敬文** が首相となった。
はら たかし

脱藩閥!

初めての本格的な(政党内閣)が誕生した。
閣僚のほとんどが(立憲政友会)の党員が占める。

今まではほとんどの大臣は
長州藩や薩摩藩など
出身の藩閥だった

国民から「平民宰相」と
よばれて支持されました。

原内閣は、選挙権の条件を、直接国税(3)円以上を
納める者に改め、参政権を拡大しました。

野党からは、年齢、性別以外で制限しない普通選挙法
をすすめられたが、お金のない(社会)主義者に票が
集まってしまうと、(労働者)に選挙権を与えることに
反対しました。

そして 1921年、

原は東京馬場で一人のテロリストによって刺殺されました。
そのため、また非政党内閣がしばらく続くこと
になった。